

第6回 新潟県地域糖尿病療養指導士 認定更新のためのスキルアップトレーニング

新潟県地域糖尿病療養指導士認定機構
会長 八幡和明

～臨床研究のすすめ。いつからはじめるのか？今でしょう！！ はじめの一步を体験してみよう～

春寒の候、皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、新潟県地域糖尿病療養指導士認定機構では、糖尿病療養指導士を修得後の皆様のスキルアップとネットワークづくりを目的に後期研修を開催していきます。

第6回目は、～臨床研究のすすめ。いつからはじめるのか？今でしょう！！はじめの一步を体験してみよう～をテーマにとりあげます。CDE-niigataとして普段の医療現場で患者さんに行っている療養指導が有効なのか、効率的なのか、あるいは患者さんの利便性の向上や生活の質の改善につながっているのかを評価することが、根拠に基づいた医療（EBM）を支えます。療養指導だけでなく治療効果や予後、要因など、様々な漠然とした疑問をどのように構造化して研究していったら良いか。今回は、これらについて考え、討議できる機会にしたいと思っております。皆様のご参加をお待ちいたしております。

【日時】平成26年3月23日（日） 13:00～16:40

【場所】パストラル長岡 5階 末広の間

【住所】新潟県長岡市今朝白2丁目7-25 Tel.0258-35-1305

【会費】1000円（参加者全員）

12:30～13:00 受付

13:00～13:05 開会のあいさつ

新潟県地域糖尿病療養指導士認定機構 会長

長岡中央総合病院 副院長・糖尿病センター長 八幡和明先生

13:05～13:45 【第1部】講演「臨床研究のすすめ。～勧めと進め方～」

講師：新潟薬科大学薬学部 臨床薬学研究室 教授 朝倉俊成先生

13:45～14:00 休憩

14:00～16:30 【第2部】SGD「いつからはじめるのか？今でしょう！！

～臨床現場で感じた疑問を洗い出してみよう～」

「えっ、それって本当？どうして？」そんな疑問から臨床研究は
はじまることが多いようです。

それをちょっと工夫するだけで何かが変わるかも？

アドバイザー：新潟薬科大学薬学部 臨床薬学研究室 教授 朝倉俊成先生

長岡中央総合病院 副院長・糖尿病センター長 八幡和明

16:30～16:40 閉会のあいさつ

新潟県地域糖尿病療養指導士認定機構より「認定更新のための研修会」1単位申請中

主催：新潟県地域糖尿病療養指導士認定機構 共催：ノボ・ノルディスクファーマ株式会社